

神経研究の進歩 第31巻 総目次

1987年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特集 Creutzfeldt-Jakob 病〕

Creutzfeldt-Jakob 病の概念の歴	
史的変遷……………赤井淳一郎……	5(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の疫学—自	
然感染のメカニズム……………黒田 康夫……	13(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の臨床 ……川井 充……	22(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の脳波—と	
くに周期性同期性放電(PSD)	
の発生機序を中心に……………柴崎 浩……	39(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の神経病理	
—失調症状とアミロイド斑を	
伴う海綿状脳症を中心とし	
て……………水谷 俊雄……	53(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の病理—ア	
ミロイド斑を中心に—	
……………疋田光太郎・北本 哲之……	65(1)
動物実験と病原体の分離—スケレ	
イビー……………品川 森……	77(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の動物実験	
と病原体の分離……………	
立石 潤・北本 哲之・田島 孝俊	
毛利 資郎……………	87(1)
培養細胞とクロマトグラフィー分	
画における Creutzfeldt-Jakob	
病の感染因子……………	
竹下 岩男・倉光 正春・立石 潤……	97(1)
Creutzfeldt-Jakob 病における脳	
の生化学的変化と発症(感染)	
因子の細胞内局在性……………玉井 洋……	101(1)
Creutzfeldt-Jakob 病の生化学—	
Scrapie-associated Fibrils と	
Amyloid Fibrils—	
……………北本 哲之・疋田光太郎……	113(1)
スクレイビー病原体の分子生物学	
的研究の現状……………山内 一也・吉川 泰弘……	118(1)

〔特集 神経組織のマーカー—モノクローナル抗体を中心として—〕

マーカーとしてのモノクローナル	
抗体—技術の発展と展望……………藤田 忍……	161(2)
Neuron-specific Enolase と S100	
蛋白質……………加藤 兼房・灰本 元……	166(2)
Neurofilament 蛋白質のダイナミ	
クス……………豊島 至……	181(2)
Protein Kinase C の脳内分布	
……………田中千賀子・斎藤 尚亮……	195(2)
セロトニンと GABA	
……………木村 宏・遠山 育夫……	204(2)
シナプス小胞に対するモノクロー	
ナル抗体……………小幡 邦彦……	216(2)
シナプス機能を抑制するモノクロ	
ーナル抗体……………	
黒田洋一郎・小林 和夫・大口 嘉子……	224(2)
Cholinergic Neuron	
……………石田 功・市川 友行……	233(2)
モノアミン・ニューロンの組織化	
学の最近の進歩	
……………永津 郁子・永津 俊治……	241(2)
ヒト小脳プルキンエ細胞の発生と	
変性—プルキンエ細胞特異蛋	
白 spot 35 蛋白を指標とした	
免疫組織化学的研究……………	
大浜 栄作・武田 茂樹・生田 房弘	
山国 徹・高橋 康夫……………	255(2)
ミエリン関連モノクローナル抗体	
高坂 新一・藤城 正敏・塚田 裕三……	270(2)
モノクローナル抗 Myelin-associated	
Glycoprotein (MAG) 抗体	
佐藤 修三・西澤 正豊・田中 正美	
犬塚 貴・田中 恵子・馬場 広子	
宮谷 信行・宮武 正……………	281(2)
神経組織のマーカーとしての GFAP	
とビメンチン—モノクローナ	
ル抗体をいかに使うべきか—	

藤田 哲也・浜田 新七・南川 哲寛	
高松 哲郎・福山 隆一・池本 恒彦	
北村 忠久	291(2)
網膜細胞のマーカー	赤川 公朗 300(2)
網膜視蓋投射	高木 新・藤沢 肇 309(2)
嗅覚経路の構築	森 憲作 320(2)
糖鎖の神経生長における役割	山本 三幸 330(2)
PHF のモノクローナル抗体	森 啓 339(2)
脳腫瘍マーカー	石田 陽一 346(2)
神経系のモノクローナル抗体一覧	小幡 邦彦 356(2)

〔特集 視床下部〕

視床下部における古典的神経伝達物質の分布	木村 宏・冨本 秀和 371(3)
視床下部における神経ペプチドの分布	塩谷弥兵衛 386(3)
ANP とジキタリス様物質	
中尾 一和・森井 成人・伊藤 裕	
山田 敬行・塩野 尚三・菅原 照	
斎藤 能彦・向山 政志・荒井 宏司	
坂本 誠・井村 裕夫	396(3)
視床下部の線維結合—神経内分泌	
ニューロンを中心として	新井 康允 409(3)
視床下部の外部神経結合とその働き	西野 仁雄 418(3)
視床下部のニューロン特異性	
大村 裕・福田 敦夫	431(3)
視床下部と神経内分泌	根来 英雄 448(3)
視床下部と飲水行動—飲水と体液制御に対する視床下部神経機構の基礎的研究—	山下 博・稲永 清敏 461(3)
視床下部と摂食行動	
小野 武年・大村 裕・佐々木和男	472(3)
視床下部と性行動	
下河内 稔・堀尾 強・志村 剛	
花田 百造	490(3)
視床下部と体温調節	堀 哲郎 504(3)
視床下部における報酬の神経基質	梅本 守 520(3)
視床下部ホルモン CRH と GRH の分泌機構および生物学的作用	
名和田 新・生山祥一郎・井林 博	529(3)
視床下部ホルモン (とくにバズブ	

レシン, オキシトシン) の下垂体ホルモン分泌に対する作用	吉田 尚 540(3)
ソマトスタチンと下垂体ホルモン分泌	加藤 謙 546(3)

〔特集 ミトコンドリア脳筋症〕

序 論	杉田 秀夫 565(4)
人体ミトコンドリアのエネルギー代謝とその遺伝子	香川 靖雄 567(4)
ミトコンドリアにおける電子伝達系の役割	
小澤 高将・田中 雅嗣・錦見 盛光	
鈴木 寛	579(4)
ミトコンドリア電子伝達系の遺伝子発現, アセンブリーとその異常	
北 潔・高宮信三郎・大家 裕	592(4)
ミトコンドリア脳筋症の臨床	福原 信義 604(4)
Kearns-Sayre 症候群の臨床	
木下 真男・根本 博	617(4)
ミトコンドリア脳筋症の病理	
埜中 征哉・古賀 靖敏・山本 雅彦	624(4)
ミトコンドリア脳筋症—神経病理と電子伝達系酵素の免疫組織化学—	
佐藤 猛・安野みどり・中村 眞二	
向山 昌邦・中村 晴臣・小澤 高将	634(4)
ミトコンドリア・ミオパチーのゴールド標識法による免疫電子顕微鏡的研究	
佐藤 猛・安野みどり・中村 眞二	
内田 隆・小澤 高将	646(4)
ミトコンドリア脳筋症の電子伝達系酵素欠損	田中 雅嗣・小澤 高将 653(4)
ミトコンドリア脳筋症のピルビン酸脱水素酵素複合体 (PDHC) 欠損	宮林 重明 666(4)
ミトコンドリア脳筋症の Carnitine Palmitoyltransferase (CPT) 欠損症	杉山 成司 676(4)
ミトコンドリア脳筋症の治療—とくに Coenzyme Q ₁₀ 療法について—	
西川 嘉郎・高橋 光雄・依藤 史郎	
小笠原三郎・垂井清一郎	685(4)

〔特集 HAM (HTLV-I-Associated Myelopathy)〕

HAM の発見とその概説……………	
納 光弘・井形 昭弘・松元 實	
宇宿功市郎・北島 勲・高橋 兼久…	727(5)
レトロウイルスと HAM ……吉田 光昭…	746(5)
レトロウイルスと多発性硬化症…	
斎田 孝彦・太田 光熙・太田 潔江	
森 史よ・川西 健登・西口 悦子	
西谷 裕・藤野 隆一・池田 幹雄	
畑中 正一……………	751(5)
HAM 患者髄液中の髄鞘障害因子	
の検索……………	
塚本 哲朗・岩崎 祐三・納 光弘	
宇宿功市郎・井形 昭弘……………	759(5)
ヒトレトロウイルス感染症として	
の HAM—AIDS および ATL	
との比較……………糸山 泰人…	766(5)
HAM (HTLV-I 脊髄炎) の病因	
斎田 孝彦・斎田 恭子・船内 正裕	
Seung Kim・渡部 和彦・小沢 恭子	
西口 悦子・中嶋三智子・松田 修一	
太田 光熙・宮井 一郎・博野 信次	
西谷 裕・畑中 正一……………	773(5)
HAM の発生病理……………	
中里 興文・秋月真一郎・三宮 邦裕	
岡嶋 透……………	781(5)

〔特集 MPTP によるパーキンソニズム・モデル〕

概 説……………	橋本博太郎…	791(5)
The MPTP Model of Parkinson's		
Disease : Evolving Neuropathological Concepts……………		
J. WILLIAM LANGSTON・		
LYSIA S. FORNO……………		796(5)
MPTP の代謝と毒性発現機構 ……千葉 寛…		807(5)
サルにおけるパーキンソニズムの		
再現……………	今井 壽正…	818(5)
マウスにおける MPTP モデル…		
小川 紀雄・水川 公直・曾良由起子…		828(5)
Tyrosine Hydroxylase (TH)活性		
に対する MPTP の影響の解		
析……………	永津 俊治…	838(5)
ビオプテリンに対する MPTP の		

影響の解析……………	西 克典…	851(5)
5 HT 代謝に対する MPTP の影		
響……………		
福田 英俊・原 健二・中村 重信		
亀山 正邦……………		857(5)
Cytotoxicity (細胞変性) の機構…水野 美邦…		864(5)

〔特集 脳のシンポジウム〕

1. 開会の辞……………	阿部 弘…	893(6)
2. 挨拶……………	椿 忠雄…	894(6)
3. 脊髄機能の基礎と臨床		
脊髄の発生—ニューロンの発		
生順位と初期伝導路の形成		
—……………	松田 正司・小林 靖	
金光 晟……………		895(6)
運動ニューロンに関する分子		
生物学的研究……………	出口 武夫…	907(6)
脊髄小脳路の解剖学的側面…松田 松雄…		916(6)
脊髄下行路の運動制御機構…佐々木成人…		926(6)
脊髄反射の生理機構……………	加藤 正道…	936(6)
脊髄疾患の画像診断……………	宮坂 和男…	942(6)
脊髄空洞症—外科の立場より		
—……………	岩崎 喜信・井須 豊彦	
秋野 実・阿部 弘…		949(6)
家族性痙性対麻痺		
……………	高橋 昭・向井栄一郎…	954(6)
HTLV-I-Associated Myelopathy		
(HAM)—とくに臨床電気		
生理学的検討……………		
有村 公良・有村由美子・納 光弘		
Raymond L. Rosales ……		961(6)
Adrenomyeloneuropathy……………	宮武 正…	968(6)
4. 脳腫瘍の Biology		
正常グリアと腫瘍性グリアの		
特性……………	藤田 哲也…	975(6)
Glioma の Virus 発癌……………		
長嶋 和郎・藤岡 保範・竹林 克重		
松田 道行・保井孝太郎・及川 恒之		
阿部 弘……………		990(6)
マーカー蛋白からみた Glioma		
……………	熊西 敏郎…	999(6)
Glioma の生化学—膜受容体		
と機能……………		
設楽 信行・辻田喜比古・中村 博彦		
源河 茂・高倉 公朋……………		1005(6)
グリオーマの癌遺伝子産物…田渕 和雄…		1015(6)

- Glioma の増殖能……………星野 孝夫…1023(6)
5. 神経疾患の分子生物学的アプローチ
- 神経疾患の分子生物学的研究
- 戦略(抄録)……………御子柴克彦…1030(6)
- 錐体外路系変性疾患……………金澤 一郎…1032(6)
- ウイルスと脱髄性疾患……………岩崎 祐三…1036(6)
- 家族性アミロイドニューロパ
シー……………荒木 淑郎…1042(6)
- 遺伝性筋疾患—デュシェンヌ
型筋ジストロフィーを中心
に—……………杉田 秀夫…1049(6)
- 挨拶……………塚田 裕三…1058(6)
- 閉会の辞……………相沢 幹…1059(6)

〔原 著〕

- 頭蓋内原発 Germinoma と嚔丸
Seminoma の免疫組織化学的
研究—とくに胎盤 Alkaline
Phosphatase について—……
篠田 淳・三輪 嘉明・近藤 博昭

- 安藤 隆・坂井 昇・山田 弘
池田 庸子・下川 邦泰・高橋 正宜… 127(1)
- 褐色顆粒の出現と小脳皮質病変を
伴う進行性ミオクロノスチ
んかんの1剖検例……………
武田 茂樹・高橋 均・大浜 栄作
生田 房弘・内藤 明彦・有田 忠司… 142(1)
- ジストニアの薬物治療—全国アン
ケート調査集計結果—……
橋本 隆男・柳沢 信夫・太田 節子… 873(5)

〔綜 説〕

- 脳の老化, 痴呆とドリコール代謝
……………榊原 洋一… 694(4)
- 電気刺激による体性感覚誘発電位
に対する持続的皮膚触覚刺激
の影響……………柿木 隆介… 702(4)

〔書 評〕

- 神経科学レビュー 1……………塚田 裕三… 717(4)